

6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全

評価者	環境生活部 武田 誉利子		
令和6年度 実行宣言			
・松阪市地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設へのLED照明の導入を進めます。特に消費電力の大きい小中学校の体育館のLED化を推進します。			
↓			
令和6年度 評価	☆評価	☆☆☆	
・令和6年度においては、小中学校体育館 30校、幼稚園10園、その他公共施設10施設のLED化を完了し、消費電力の削減、並びに温室効果ガス排出量の削減に寄与するとともに、R12(2030)年までに100%という目標の早期実現にも大きく貢献しました。			
↓			
令和7年度 実行宣言			
・日常における身近な省エネ行動の促進として家庭等における節水や節電など、一人ひとりの身近な省エネ行動の重要性を広報やイベント等で周知し、省エネ行動の実践を促していきます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に基づく公共施設のLED化を進め、令和7年度には小中学校や幼稚園・保育園、放課後児童クラブ等のLED化を完了します。加えて、施設の規模が大きいワークセンター松阪や清掃施設などのLED化も推進していきます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	温室効果ガス排出量(市全域)R12(2030)年までに47%削減(H25(2013)年基準)				目標種別	↑
	評価者	環境生活部 武田 誉利子					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	20.2 %	23.0 %	25.8 %	954.9千t-CO ₂ ※基準年から37.1%減	
	実績	1,254.8千t-CO ₂ (R3)※基準年から17.4%減	16.9 %	— %	— %	— %	
	評価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	国や県などが公表する各部門における排出量(2年前の実績数値)から算定した「松阪市における温室効果ガス排出量」を指標とし、「地域脱炭素ロードマップ」や「松阪市地球温暖化対策実行計画」に沿った取り組みを推進することで脱炭素社会の実現をめざします。					
数値目標 ②	項目	公共施設のLED化(R12(2030)年までに100%)				目標種別	↑
	評価者	環境生活部 武田 誉利子					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	44.7 %	70.4 %	99.0 %	100.0 %	
	実績	30.6 %	44.7 %	— %	— %	— %	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	「松阪市公共施設における照明のLED導入基本方針」をもとに、引き続き公共施設のすべての照明のLED化を推進します。					
数値目標 ③	項目	公用車のEV化(R12(2030)年までに100%)				目標種別	↑
	評価者	環境生活部 武田 誉利子					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	10.1 %	21.7 %	45.0 %	59.4 %	
	実績	3.0 %	10.1 %	— %	— %	— %	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	「松阪市公用車のEV導入基本方針」をもとに、引き続き、代替車がない場合や災害対応のために一定数保有するガソリン車を除き、すべての公用車のEV化を推進します。					

関係所属
環境課

6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進

評価者	清掃行政担当理事 福山 桂		
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設にて適切な処理をしていきます。また、焼却施設に係る排出ガスや放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とする管理を行い、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みます。 ・ごみ減量・3Rの推進では、ナッジを活用した新たな啓発事業や市民意識調査をもとに市民ニーズを検証した事業の研究等、また、市民の皆様暮らしの中で、身近な脱炭素化の取組(食品ロス削減・ごみの堆肥化等)を実感していただけるような取組を検討していきます。 ・リサイクルセンターについては、敷地内の老朽施設の除却等を年次的に計画していきます。 ・新最終処分場の整備計画用地の取得は、令和6年度上半期までに全ての用地を取得できるように取り組みます。 			
↓			
令和6年度 評価	☆評価	☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター、最終処分場における排出ガスや放流水の水質を法令・協定書に基づく基準値以下となるよう適切に管理を行い、いずれの数値も基準値以下を達成し、周辺地域の環境保全を維持することができました。 ・施設等における火災防止については、HP・広報・振興局だより・出前講座等(年間48回)において、充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みましたが、クリーンセンターでの火災検知器の作動による高速回転式破砕機の緊急停止回数が136回と前年度比48回の増となりました。 ・ごみ減量・3Rの推進においては、市内スーパーに松阪市の一世帯あたりのごみ処理経費を掲示するなどの啓発に取り組み、市民一人あたりのごみ排出量を前年度対比で15g減量(680g→665g)することができました。 ・また、さらなる市民のごみ減量への意識向上を図るため、ナッジを活用し松阪市指定ごみ袋の名称を「もえるごみ専用」から「もやすかないごみ専用」に変更することいたしました。 ・脱炭素化においては、食品ロス削減の取組として「残さず食べよう」「持ち帰り」協力店・事業所を令和6年10月より募集し、年間100軒の目標に対し、6か月間(令和6年3月末時点)で96軒を達成、またごみの堆肥化においても生ごみたい肥化補助金の件数を令和5年度86件から令和6年度182件(96件の増)とし、市民・事業者等の意識の向上に努めました。 ・リサイクルセンターについては、年次計画どおりに第2管理棟の解体・除却を令和7年度に実施いたします。 ・新最終処分場の整備計画用地の取得は、令和6年9月20日をもって100%(121,852.83m)を購入、用地買収を完了することができました。 			
↓			
令和7年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設において適切な処理をしていきます。 また、クリーンセンターにおける排出ガスや最終処分場における放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とし、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みます。 ・ごみ減量・3Rの推進の取組として、EBPMに基づき引き続きナッジの視点も取り入れた啓発事業や取組を推進し、さらに(仮称)食品ロス条例の制定に向けた検討を進めてまいります。 ・新最終処分場の整備については、令和9年度の供用開始をめざし、適正な進捗管理に取り組んでまいります。 			

施策の進捗状況								
数値目標 ①	項目	資源化率(総ごみ量のうち総資源化量の占める割合)				目標種別	↑	
	評価者	清掃行政担当理事 福山 桂						
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	目標	—	12.2 %	13.0 %	13.7 %	24.0 %		
	実績	9.90 %	9.57 %	— %	— %	— %		
	評価	—	E	—	—	—		
	今後の方針	ごみの分別や出し方について、より効果的な周知・啓発を検討します。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ②	項目	家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量				目標種別	↓
	評価者	清掃行政担当理事 福山 桂					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	682 g	666 g	650 g	646 g	
	実績	680 g	665 g	— g	— g	— g	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	家庭系ごみ削減の新たな取組や、食品ロス削減の啓発を強化していきます。					
数値目標 ③	項目	市民意識調査に係る廃棄物(ごみ)対策に対する満足度				目標種別	↑
	評価者	清掃行政担当理事 福山 桂					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	3.22 /5	3.25 /5	3.27 /5	3.30 /5	
	実績	3.19 /5	3.15 /5	— /5	— /5	— /5	
	評価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	社会情勢や市民ニーズの変化をとらえ、サービス向上のための施策を検討します。					
数値目標 ④	項目	最終処分量の減量				目標種別	↓
	評価者	清掃行政担当理事 福山 桂					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	6,546 t/年度	6,257 t/年度	5,969 t/年度	1,200 t/年度	
	実績	6,922 t/年度	6,527 t/年度	— t/年度	— t/年度	— t/年度	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	最終処分量を減量するため、一般廃棄物排出量の削減に取り組みます。					
関係所属							
清掃事業課、清掃施設課							

6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実

評価者	産業文化部長 岡田 久	
令和6年度 実行宣言		
<p>・おでかけ交通の確保について、地域の要望を聞き取りニーズを把握し、新たにコミュニティ交通を導入したいと考えている地域には、その特性や実情にあった形態での導入を検討していきます。</p> <p>・また、バス利用者数の増加を図るために今年度の路線バス運賃無料デーの実施においては、コミュニティバス沿線にある商業施設や文化・観光施設等と連携し、利用促進の効果的な取組に努めます。</p>		
↓		
令和6年度 評価	☆評価	☆☆
<p>・おでかけ交通の確保について、地域の要望を聞き取る際の指標として「地域公共交通カルテ」を策定し、43の全住民自治協議会へ配布しました。今後、要望がある地域には、このカルテを基に、地域の特性に合った公共交通の導入を共に検討していきます。</p> <p>・バス無料デーについては、通常時の同じ曜日と比較して4.0倍の利用がありました。当日は、道の駅飯高駅でのクーポン配布企画や飯南ふれあい祭、観光協会主催の観光ツアーなど、様々な機関と連携し、利用促進を図りました。</p>		
↓		
令和7年度 実行宣言		
<p>・飯南管内の公共交通再編は、地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和8年度の運行開始ができるよう取り組みます。</p> <p>・地域に対し、地域公共交通カルテの周知説明や出前講座を実施するなど、市内で局地的に交通空白となっている地域において、地域主体の交通システムであるおでかけ交通の導入検討や、既存の公共交通の利用促進を支援します。</p>		

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	住民1人あたり公共交通機関年間利用回数				目標種別	→
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	8.00 回	8.00 回	8.00 回	8.00 回	
	実績	7.16 回	7.50 回	— 回	— 回	— 回	
	評価	—	D	—	—	—	
今後の方針	鈴の音バス停留所がある商業施設等と連携して、当該施設内で回数券の出張販売を行うなど、バス利用者数の増加を図ります。						
数値目標 ②	項目	路線バス年間利用者数				目標種別	→
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	1,136 千人	1,136 千人	1,136 千人	1,136 千人	
	実績	998 千人	1,027 千人	— 千人	— 千人	— 千人	
	評価	—	E	—	—	—	
今後の方針	松阪駅前バスのりばにデジタルサイネージを設置することにより、観光客や市民に対して分かりやすい交通案内を実現し、利用者増加をめざします。						
数値目標 ③	項目	鈴の音バス(市街地循環線)地域負担率				目標種別	→
	評価者	産業文化部長 岡田 久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	39.9 %	39.9 %	39.9 %	39.9 %	
	実績	28.5 %	29.2 %	— %	— %	— %	
	評価	—	E	—	—	—	
今後の方針	利用者増加による運賃収入の確保や、協賛金をいただいている企業に引き続き丁寧をお願いし、財源の確保に努めます。						

関係所属
商工政策課

6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和6年度 実行宣言			
<p>・都市空間の整備は、令和6年度より公園施設長寿命化計画に基づく公園整備をスタートさせます。また、管理者の異なる公園のあり方については、今年度、方針を決定していきます。松阪駅西地区複合施設計画についても、アンケートやヒアリングを行い、今年度、方針を決定していきます。</p> <p>・住環境の整備は、空家対策において、不良空家の減少をめざし、補助金活用の一層の周知を行うとともに、ニーズに沿った新しい制度の検討を行います。市街化の見直しや土地利用の再定義においては、都市計画マスタープランの作成に併せ、松阪市の課題解決に向けた取組を行います。</p>			
↓			
令和6年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>・都市空間の整備については、公園施設長寿命化計画に基づき、計画通り2施設について修繕を実施しました。管理者のことなる公園のあり方については、令和7年度から建設部にて予算計上を行い、計画通りに進めることができました。松阪駅西地区複合施設計画については、約200社にアンケート、約20社にヒアリングを行い、着実に事業を推進することができました。</p> <p>・住環境の整備については、C判定空家等の解消数が未達となりましたが、市街化の見直しや土地利用の再定義においては、既存集落活性化型地区計画において、前向きに検討をいただく地区と継続的な話し合いを進めています。</p>			
↓			
令和7年度 実行宣言			
<p>・都市空間の整備は、引き続き公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕を実施します。松阪駅西地区の整備については、ワークショップを開催して基本構想の確認を行い、事業者の公募を進めます。</p> <p>・住環境の整備は、空家対策において、新事業である「空き家の終活 お助けプロジェクト」を軌道にのせ、空家の解消に繋がります。土地利用の再定義については、既存集落活性化型地区計画において、地域と話し合いを継続していきます。市営住宅については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画通り解体を進めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	C判定空家等(※)の解消数(累計) ※住めない空家(居住するには建て替え又は相当な修繕等が必要)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	120 軒	180 軒	240 軒	300 軒	
	実績	60 軒	104 軒	— 軒	— 軒	— 軒	
	評価	—	B	—	—	—	
	今後の方針	新規事業のPRを行うと共に、無料相談会や補助金活用のPRを実施し、C判定空家の減少をめざします。					
数値目標 ②	項目	老朽化住宅からの住替え件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	88 戸	89 戸	94 戸	96 戸	
	実績	82 戸	84 戸	— 戸	— 戸	— 戸	
	評価	—	D	—	—	—	
	今後の方針	引き続き、入居者のニーズに沿った住み替え先の提案など、親身な交渉を行い、計画的な住み替えを進めます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ③	項目	宝塚団地・上川町団地の解体棟数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	12 棟	14 棟	18 棟	22 棟	
	実績	8 棟	12 棟	— 棟	— 棟	— 棟	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	松阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な解体を実施します。					
数値目標 ④	項目	公園施設長寿命化工事の実施数				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	2 施設	72 施設	246 施設	318 施設	
	実績	0 施設	2 施設	— 施設	— 施設	— 施設	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	松阪市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設整備の維持管理や更新を実施します。					
関係所属							
土木課、住宅課、都市計画課、建築開発課							

6. 快適な生活 ⑤道路等の整備

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和6年度 実行宣言			
<p>・計画的な道路の整備と、歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。引き続き、道路照明灯のLED化に取り組み、安全性を高め快適な道路環境を提供します。</p>			
↓			
令和6年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>・道路の整備については、一部未達の路線もありましたが、概ね計画通り進めることができました。道路照明等のLED化についても計画通り実施することができました。</p>			
↓			
令和7年度 実行宣言			
<p>・計画的な道路の整備と、狭あい道路や歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。道路照明灯のLED化については、最終年度であり、確実に整備を実施し、安全性を高め快適な道路環境を提供します。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	指標名	舗装修繕延長				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	2.6 km	3.6 km	4.6 km	5.0 km	
	実績	1.3 km	2.4 km	— km	— km	— km	
	評価	—	B	—	—	—	
	今後の方針	緊急輸送道路の老朽化した舗装の修繕工事を実施し、災害発生時の輸送ルートの確保を図ります。					
数値目標 ②	指標名	狭あい道路整備促進補助金 補助件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	210 件	250 件	290 件	330 件	
	実績	172 件	197 件	— 件	— 件	— 件	
	評価	—	C	—	—	—	
	今後の方針	狭あい道路の整備を促進することで、地域の安全性や快適性の向上を図ります。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ③	指標名	2巡目点検に基づき対策が必要な橋りょうの修繕数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	4 橋	12 橋	20 橋	26 橋	
	実績	0 橋	4 橋	— 橋	— 橋	— 橋	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	道路メンテナンス事業補助金を活用して、早期の修繕を実施し長寿命化を図ります。					
数値目標 ④	指標名	道路整備の完成路線数				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	2 路線	3 路線	5 路線	6 路線	
	実績	0 路線	2 路線	— 路線	— 路線	— 路線	
	評価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	地域と対話しながら、緊急性や道路利用に沿った整備方法を決定し、快適に利用できる道路整備を進めます。					
関係所属							
建設総務課、土木課、建設保全課、建築開発課							

6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備

評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘		
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。 県営水道料金改定においては、引下げに向け、しっかりと要求をしていきます。 水道事業建設改良工事においては引き続き、安全・安心な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新を進めます。 下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか、集中浄化槽を備えた団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていくとともに、経営戦略に基づいた整備区域の見直しに着手します。 公共下水道雨水事業計画に基づき、雨水管渠整備を進めます。 令和5年度に引き続き、公共用水域の水質保全を図るため、生活排水施設の適切な維持管理を行うとともに、広報等を活用した生活排水に関する啓発を行い、生活排水処理施設の整備を進めていきます。 			
↓			
令和6年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<ul style="list-style-type: none"> 水道事業については、経常収支比率(103.3%)、営業収支比率(97.9%)で営業損失が生じたが経常収支比率は100%以上を保てました。営業損失が生じた主な要因は給水人口の減に伴う給水収益の減であり、今後、詳細な検証を実施し対策を進めていく必要があります。 県営水道料金改定においては、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間は据え置くこととなりました。引き下げには至りませんでした。今後も受水費の引き下げ要望は継続していきます。 基幹管路の耐震化については令和5年度末の耐震適合率39.7%を令和6年度末では1.8ポイント増の41.5%、470mの整備目標であった老朽管の更新については491mの整備し、目標値以上に進めることができました。 下水道整備においては、国の交付金が縮減される中、阿形町(桜通団地)などへの整備を実施し令和6年度末の普及率は前年度比0.1ポイント増の63.2%となりました。また汚水整備区域の見直し業務に着手しました。 公共下水道(雨水)事業計画に基づき、桜町1号雨水幹線及び石津町外で雨水整備を実施しました。 「飯南かわら版」や「飯高とつときたより」などを通して生活排水に関する啓発を行いました。また、1年を通して施設の点検、清掃など維持管理に努め、令和6年度は17基の公共浄化槽を新規整備し、公共用水域の水質保全の向上を図りました。 			
↓			
令和7年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。また、持続可能な水道料金の研究に取り組んでまいります。 水道事業建設改良工事においては引き続き、安全・安心な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新とともに、避難所などの重要施設へ接続する水道管の耐震化と災害時用給水栓の整備を進めます。 公共下水道事業(汚水)は、経営戦略に基づき面整備工事による未普及対策、及び、マンホールトイレ設置などによる地震対策を進めます。また、浄化槽、農集、公共下水道による整備区域の見直し検討を継続します。 公共下水道事業(雨水)は、雨水幹線等の工事のほか、雨水管理総合計画に基づく松阪市公共下水道計画の見直しに着手します。 			

施策の進捗状況								
数値目標 ①	項目	水源の水質事故件数				目標種別	→	
	評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘						
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	目標	—	0件	0件	0件	0件		
	実績	0件	0件	—	—	—		
	評価	—	S	—	—	—		
	今後の方針	引き続き、水源の水質事故0件に努めます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ②	項目	基幹管路の耐震化率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	40.9 %	41.0 %	41.6 %	42.1 %	
	実績	39.7 %	41.5 %	— %	— %	— %	
	評価	—	S	—	—	—	
今後の方針	引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。						
数値目標 ③	項目	下水道普及率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	62.6 %	63.0 %	63.4 %	63.7 %	
	実績	63.1 %	63.2 %	— %	— %	— %	
	評価	—	S	—	—	—	
今後の方針	松阪市公共下水道経営戦略に基づき、管渠整備を進めていきます。						
数値目標 ④	項目	上水道の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	3.71 /5	3.81 /5	3.90 /5	4.00 /5	
	実績	3.61 /5	3.40 /5	— /5	— /5	— /5	
	評価	—	E	—	—	—	
今後の方針	引き続き、上水道の耐震化や災害時用給水栓の整備を進め、市民満足度の向上に努めていきます。						
数値目標 ⑤	項目	下水道の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 塩野 直弘					
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	—	3.30 /5	3.36 /5	3.42 /5	3.50 /5	
	実績	3.24 /5	3.17 /5	— /5	— /5	— /5	
	評価	—	E	—	—	—	
今後の方針	汚水管渠整備を進めるとともに、不明水対策や地震対策としてマンホールトイレ工事など実施し、市民満足度の向上に努めていきます。						
関係所属							
環境課、上下水道部							